



3次元空間情報基盤による デジタルツイン社会の未来

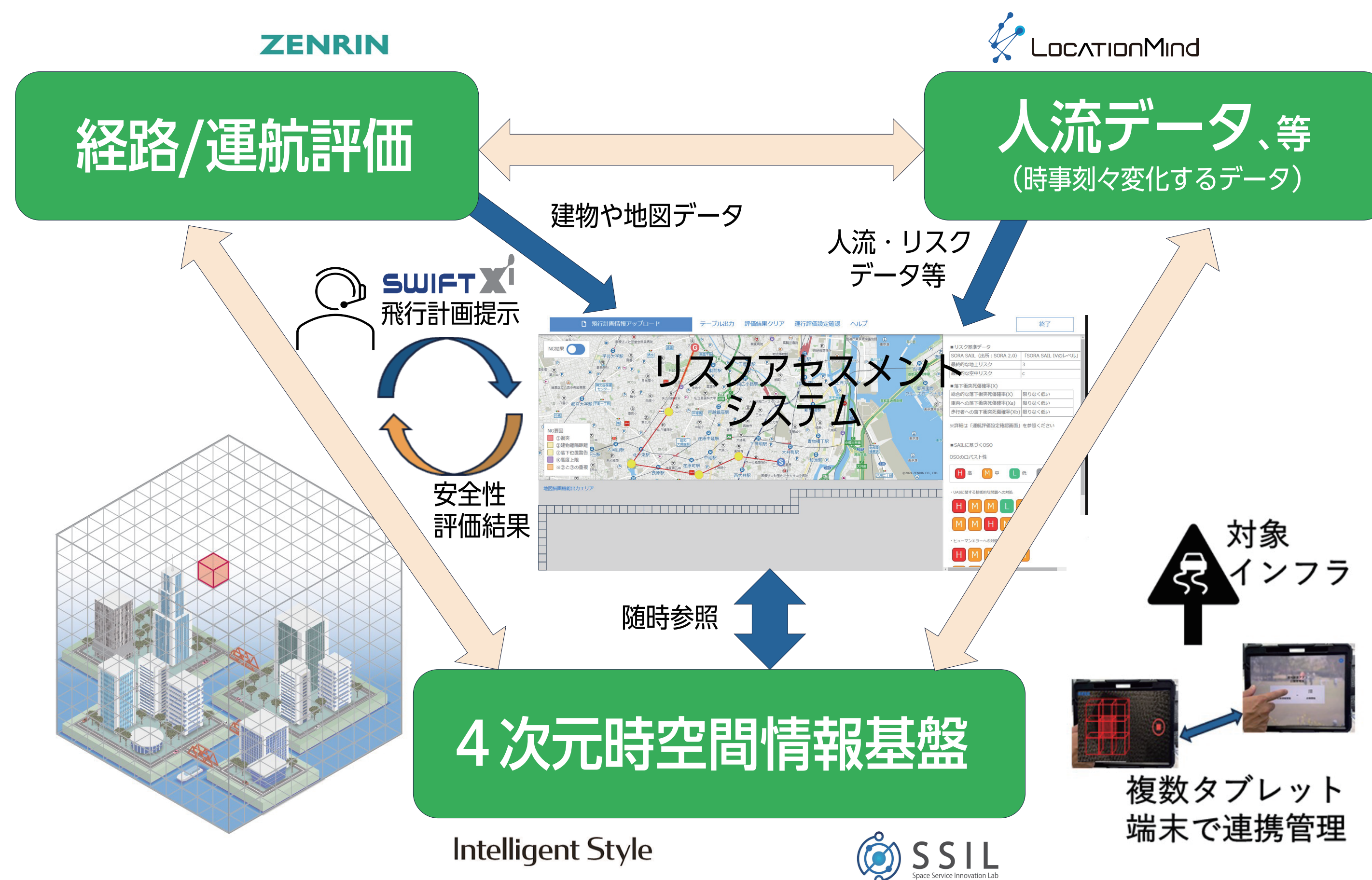
宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合、(株)ゼンリン、
LocationMind(株)、Intelligent Style(株)、スウィフト・エックスアイ(株)

プロジェクト概要

空間IDによる3次元空間情報基盤の開発は、ドローン運行管理、災害対策など多岐にわたるユースケースでの有用性を立証しています。メタデータ構造の定義、API設計、高速検索インデックス(従来かかる参照・比較時間を100分の1に短縮)など、具体的な技術が開発されました。特にリスクマネジメントシステムやSpoofing攻撃防御技術は、ドローンの安全運航に不可欠な要素であり、将来の自律移動モビリティの普及に向けた重要なステップです。

展示物紹介

ドローン飛行を想定し、運行希望ルート上の障害物の有無、落下分散範囲の人流を含む安全性等を評価し、オペレーターとのやり取りで適切なルートを選択する連携手順を詳しく解説します。
また、会場内のコンピューター上で、実在する場所のボクセル化空間から、建造物の情報を引き出したりするインフラ点検デモも行います。



社会実装イメージ

多種多様な空間情報を標準化し、あらゆる要求に対応・連携可能なデジタルツイン共通基盤を整備します。
国土基盤・施設の整備・管理、都市調査・解析を容易にするとともに、陸海空のモビリティの安全と低コスト運用を可能にします。



プロジェクト実施期間	2022年度～2024年度
NEDOプロジェクト名	産業DXのためのデジタルインフラ整備事業／3次元空間情報基盤に関する研究開発／ 情報容量が可変するセマンティックデータ連携空間IDからなる3次元空間情報基盤構築と基盤を通じた 二拠点でのドローン自律移動の安全・効率的な運行の実現
お問い合わせ先	宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合 Email : event@ssil.jp